

(様式1)

学校番号 (小●中 97)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(水窪小中)学校運営合同協議会長

<本年度の目標>

子供の数が年々少なくなっていく現状の中で、効果的な学校での教育や行事を進め、水窪ならではの学校教育や適地教育が更に充実するよう、方策を考えていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった

(理由) よくできた14% できた71% あまりできなかった14% できなかった0%

○学校運営に対する説明を受け、学校の現状が把握でき、基本方針の共有ができた。

○小中一貫教育グランドデザインがわかりやすく、学校経営目標に向けて進められていることが分かった。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった

(理由) よくできた0% できた86% あまりできなかった14% できなかった0%

●児童生徒が急激に減少していく中で、支援活動についての熟議は難しい状況を迎えていると痛感した。

○学校や委員と意見を共有する中で、児童・生徒数が少なくなっていく地域に対して深掘りができた。少人数だからこそできることに挑戦することが大切であると感じた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった

(理由) 充分に行った0% 行った57% あまり行わなかった14% 行わなかった29%

●各委員全員に発言していただくよう進めたが、まだまだ十分ではない。発信していく方法をさらに検討していく。

●発信内容については、守秘義務もあり、難しいと感じている。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

子供の数が年々少なくなっていく現状の中で、効果的な学校での教育や行事を進め、水窪ならではの学校教育や適地教育が更に充実するよう、方策を考えていく。

令和10年の小中一貫校開校へ向けて、ハード、ソフトの両面からどんな支援が必要か考えていく。